1977 年 12 月 3 日第 3 種郵便物認可(毎月 18 回 1･2･3･5･6･7 の日発行) 2018 年 9 月 4 日発行ＳＳＫＰ増刊通巻 6972 号はばたけだより NO.137

社会福祉法人 おおぞら会

SSKP はばたけだより

vol.137

あそぼう！
あそぼう！
いっぱいあそぼ！

知恵・工夫・探求！チャレンジ・なかま・笑顔！…あそびを通して、子どもは自らいろいろなことを育んでいきます！ぐんぐんかがやけ、あすはKids★

小規模多機能型居宅介護

野ざきの家

“Welcome! 野ざきの家” ～来て・見て・触って（体験して）～

言葉で伝えようとすると、最初から最後まで説明するのは面倒くさいし、聞いても理解出来ないし、伝わってこない事が多々ありませんか？…その通りなのです。『小規模多機能型居宅介護』は、何だか不透明で、すっきりしないのです。２００６年４月に制度化され、融通の利いた時間利用が可能となり、「通い・訪問・泊まり」のニーズに対応しています。ただ残念ながら福祉業界の中でも認知度が低く、浸透してないのです。本当にもったいない、こんなに万能の支援サービスを知らないなんて…。それを解消するためには、野ざきの家に「来て・見て・触って（体験して）」が一番の近道なのです。

ある日の利用者と職員の会話

職員　「宝くじを買ってもし 100 万円が当たったら、お金を何に使いますか？」

Ａさん　「鰻（うなぎ）の特上をみんなにご馳走するよ。熱海へみんなと旅行もいいな。芸者も呼んでさ！」

Ｂさん　「みなさんと一緒に銀座へ行って、高級なお寿司をご馳走したいですね。」

Ｃさん　「札束を皆さんにお配りして、それでもお金が余ったら、美味しいものを一緒に食べたいですね。一人で食べてもつまらないし、大勢で食べた方が楽しいから。」

Ｄさん　「それには長生きしないとね。私は皆さんと美味しく食事が出来るよう、健康に 100 万円を使います。」

気前が良いと言うか、お互いを思いやる気持ちが感じられ、心が温かくなったひとコマ…みなさん笑顔も素敵で、印象的でした。

野ざきの家が心地良い居場所になって、「一人じゃない」地域の方々と豊かな関係を築き、自分らしく生活し、その中で不自由を感じている事をサポートしていきます。また、野ざきの家の介護支援は、一人ひとりオーダーメイドが可能です。小さな事でも相談していただき、心配や不安を少しでも緩和できたらと思います。是非、お気軽に体験、遊びに来て下さい。

（介護職員　三科　紀美子）

いのじんセミナー『いのじん地区できらり人生★未来予想図を描こう』

野さきの家がある地域の三鷹市西部地域包括支援センターでは、井口・野崎・深大寺地区（いのじん）の住民に向けてセミナーを開催しています。自分が暮らす地域の施設を見学し、講師のお話を聞き、どんな老後を迎えることができるのか、迎えたいのかについて一緒に考える会です。この機関紙の発行には間に合いませんでしたが、野ざきの家にも、なんと 30 名のみなさんが希望し、見学・体験に来て下さいます。関心の高さは、老後への不安の裏返しでもあります。今後も、西部包括支援センターと協力し合い、安心して暮らし続けることのできる地域づくりを目指したいと思います。

サポートネットあすは

《移動支援・同行援護・行動援護・居宅介護事業》

あすは事務所で仕事をしていると、事務所に寄ってくださる当事者の方がいます。朝・夕と事務所に寄ってくださるＡさんの目的は特定の職員に挨拶をすることです。その職員がいるかどうかガラス扉越しに確認をし、いれば中に入って挨拶を、いなければ他の職員に軽～く会釈をして通りすぎていきます。最近では、「特定の職員でない」私が事務所以外でお会いしても「あっ」と気づいてくださったり、軽～く会釈をしてくださったりして、「私のことも覚えてくれている！」と嬉しい気持ちになっています。

夕方、帰宅途中に寄ってくれるＢさんは、手作りの折り紙作品をたくさん持ってきて「あげます」と言ってカウンターに作品を置いて帰っていきます。他にも、仕事の合間（？）や決まった時刻に事務所に電話をくれる方もいらっしゃいます。悩みを相談されることもたまにありますが、多くの場合は何気ない雑談です。

ご存知の通り、ガイドヘルプは利用者の方から依頼があった時にしか関わることができません。以前はそれをもどかしく思ったこともありましたが、今はそうは思っていません。Ａさんにとってもｂさんにとっても、サポートネットあすはは何気なく寄る場所の一つでしょうし、他の方にとっても生活の中心ではないでしょう。しかし、ふと思いついたときに寄ったり、電話できたりできる場所でありたいと思っています。

ガイドヘルプについても同じです。たくさんのヘルパーさんが関わっていただく中で、利用者ご本人の息抜きになったり、新たな刺激になったり、少しずつ利用者ご本人の生活のバリエーションが増えていけば良いなと考えています。　（管理者　鷹觜 綾）

あすはKids

≪放課後等デイサービス≫

子どもたちにとっての“あそび”

あすはＫｉｄｓは、“あそび・気晴らし・休息”を目的に活動しています。
子どもたちにとっての“あそび”の形は様々です。縁石や排水溝に沿って歩く・ジャングルジムのてっぺんで立つ・水飲み場でお水を勢いよく出して触る・狭い所に潜り込む・絵具を体に塗るなどなど。

虫取りや鬼ごっこ、かくれんぼ、缶けりなど健常の子どもたちのようなあそびはほとんどしませんが、子どもたちの“あそび”を見ていると、体や手に感じる感触、見える風景、独特の空間の感じ、匂いなど、自分が子どもの頃にわくわくした体験に共通するものがあるなぁと思います。

あすはＫｉｄｓでは、定型発達から理解したあそびに囚われることなく、子どもたちの感覚や興味を満たすような“あそび”を大切にして、広げていきたいと思っています。

（管理者　三浦明雄）

工房 時 【就労移行・就労継続Ｂ型】

働く喜びを感じられる仕事に巡り合うために…

工房時就労移行支援所属のＣさんが、給食センターに就職することができました。Ｃさんは以前から「外に出て働きたい」という一般就労への思いが強くあり、これまで様々な実習や研修を重ねながら、就職に結びつけることができました。給食センターでは現在、洗濯、清掃などの仕事をしています。

これまで実習は高齢者施設での清掃や昼食の下膳作業、ゆうせいチャレンジド（特例子会社）での清掃作業、三鷹市役所での封入やスタンプ押しといった軽作業など、様々な場所で行ってきました。そういった実習をすることで自分の得意なこと、苦手なこと、また好きなことが見えてきました。また、工房時内で「働くこと」についてのグループ学習会も行いました。「働いていて、どんな時が楽しいか？」「実習をやってみての感想」「働くことに必要なことはなんだろう？」といったことを話し合いました。Ｃさんは「褒められた時、喜んでもらえた時に働く楽しさを感じた」といった感想を話すことができていました。そのようなことを踏まえ、自分に合った職場、自分がやりたい仕事、自分らしい働き方を職員といっしょに探していきました。そういった取り組みがあって、給食センターに就職することができました。

Ｃさんはおもむく食堂で接客や開店準備、洗い物、片付けなどの仕事を日々こなしながら、働く力を身に付けてきました。そして大切なことは、仲間といっしょにがんばったり、成果を共有したりしながら、働く喜びを感じてきたことだと思います。働くことは大変だけれど、達成感や充実感、喜びも感じられるという経験が「仕事をしたい」といった気持ちにつながったのだと思います。今、給食センターでは洗濯や清掃など、工房時で培ってきた力が活かされる仕事をしています。Ｃさんに仕事の感想を聞くと、「大変」と言いながらもにっこり笑っていました。やりがいを持って仕事をしているのが分かりました。

Ｃさんへ・・・楽しくやりがいを持って仕事をしながらも、大変なこと、しんどいこと、時にはつらいことがあるかも知れません。そういったことを乗り越えていくことが、人間的に成長していく糧になると思います。でも本当につらい時は我慢せず、工房時の職員に相談しましょう。また、おもむく食堂にも顔を出してください。みんなの顔を見て、話して、美味しいうどんを食べて、元気をもらってください。無理をせず、がんばってくださいね。

（管理者　立野信行）

＊おしらせ＊

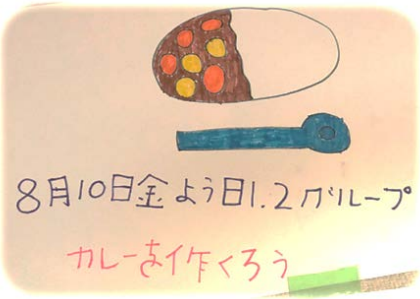
“トキメキ感謝祭”

９月２２日（土）１０：００～１６：００

ビアホール、お菓子販売、ゲームコーナーなど、
楽しい企画で皆さんをお待ちしています！

場所：工房時・のざきの家

アクティビティセンター はばたけ【生活介護事業】



夏の風物詩となったカレー作り。夏休み前の暑気払いも兼ねて、1階のふたつのグループ合同のチャレンジ企画として始めて4年目。昨年からは2階のグループでも時期を変えて行うようになり、はばたけ全体の恒例行事になりつつある調理企画です。

事前準備からみんなで盛り上げていこうと、まずは手作りポスターを作成！実物よりもおいしそうにできあがり、壁に貼るといよいよ期待も高まります。そしてグループで手分けして、材料の買い出しにでかけます。近所のスーパーでルーやデザートの材料を、いつも玉ねぎ作業でつながりのある八百銀さんで野菜を選びました。サラダは“はばたけ産”。庭の畑で育てたキュウリやバジル、シソを使おう…ということで準備は OK です。

いよいよ当日…。15 人のコックたちがエプロンをして気合十分。いざスタートです。得意なことを分担して力を合わせて作る「大なべチーム」、出来上がりまでの工程を全部チャレンジする「中なべ・小なべチーム」、じっくりマイペースの「ごはんサラダチーム」と 4 つに分かれます。玉ねぎの茶皮剥きは「ぼくの仕事！」とばかりにきれいに剥くTさん。「これやりたい！」とニンジンやジャガいもを積極的にカットするYさん。その他にも「これの次は何？いつルー入れる？」と早く食べたい気持ちをおさえながら、最後までエプロンをつけて参加していたKさん。限られた時間の中で、それぞれができることを見つけながら工夫し、各テーブルで（多少のバタバタはご愛敬で）仲間と協力しながらすすめました。

おっと危ない！サラダづくりに気をとられ、お米をセットするのをうっかり忘れていた職員に、すかさず「お米は？大丈夫」と素早くフォローが入り…何とか 12 時には炊き上がり、大きなテーブルを囲んで自分たちで作ったカレーやサラダ、デザートを美味しくいただきました。みんなで協力してひとつのものを作ることの達成感、できたものをおいしくいただくことで深まる絆。回を重ねる中で「夏はやっぱりカレーだね!!」が合言葉になりつつあります。

（サービス管理責任者　柴田　信）

あたらしい車がきました！ ～禅林寺龍華会基金様よりご寄贈いただきました

禅林寺にて…木村ご住職と記念の一枚
西原理事長と利用者のみなさんでご挨拶に伺いました！

送迎や玉ねぎの納品で毎日乗る車は、施設には欠かせないものです。しかし、運営費の中で購入、維持をしていくのはとても大変です。はばたけの車も修理屋さんにお世話になりながらボロボロになっても買い換えられずにいました。

この度、三鷹市の禅林寺（太宰治のお墓があることで有名）の龍華会基金様のご厚意により、トヨタノアをいただき、安心してまた利用者を乗せ、三鷹の街をはしることができるようになりました。大切に使わせていただきます。ありがとうございました。

おおぞら会は20歳を迎えました！

昭和 57 年「はばたけ共同作業所」誕生。後ろ盾のない中、ちいさなアパートの一室からのスタートでした

昭和 61 年年　実績が認められ三鷹市から土地を貸していただけることに…三鷹市野崎に拠点（現在のはばたけ）ができました！

平成９年社会福祉法人認可を受け、平成 10 年４月知的障害者通所授産施設として新しいスタート！
当時の施設長 深沢智子氏をはじめ、たくさん方々の熱意が実り、開所式を迎えました。

平成 18 年　なかまの家・サポートネットあすは
平成 19 年　さくらハイツ
平成 20 年　ショートステイさくら
平成 22 年　あすはＫｉｄｓ
平成 23 年　工房時・野ざきの家

障害のある人たちのニーズに応え、そして高齢になっても住み慣れた場所で暮らしたいという地域の方々をサポートしながら…20 年振り返ればあっという間でした。
これからもこの地域で、そして皆様と一緒に歩んでいきたいと思っております。どうぞよろしくお願いします。

おおぞら会後援会ニュース

法人２０周年
記念事業へ向けて

６月２日に後援会総会を開催いたしました。多くの関係者にご出席いただき、誠にありがとうございました。おおぞら会全体が関わる行事として、法人の一体感を改めて感じた次第です。

今秋には新規グループホームの開設や、法人設立２０周年の記念事業も予定されており、あらためて後援会としても法人、そして 20 周年記念事業委員会と共同で広報とご協力を募り、各事業所と力を合わせてこの事業を成功させたいと考えております。皆様のお力添えをどうぞよろしくお願いいたします。

社会福祉法人おおぞら会後援会
会長　吉野　壽夫

★後援会新規ご入会・ご更新（敬称略）　　(4/1～8/20 集約分)

個人 151 名の方からご入会・ご更新のお手続きをいただきました。
ありがとうございました。

★後援会へ寄附（敬称略）

個人 17 名、団体 2 社よりご寄附をいただきました。ありがとうございました。

★後援会経由　　法人・各事業所へ寄附（敬称略）

個人 8 名、団体 2 社からご寄附をいただきました。ありがとうございました。

皆様 ありがとうございました。後援会費、ご寄付は大切に活用させていただきます。

＊後援会へのご入会・ご更新をお願いいたします＊

年会費　１口 個人…２０００円 団体…１００００円

年会費は、お手数ですが直接お持ちいただくか、下記の口座にお振込みください。

郵便口座 00160-0-39163　　口座名義：　社会福祉法人おおぞら会後援会

＊法人 20 周年　記念事業＊

社会福祉法人おおぞら会は、平成 30 年 11 月で法人設立 20 年を迎えます。今年度は、さまざまな形で、おおぞら会の歩みと皆様への感謝をお伝えしたいと考えております。

●記念式典　11／１０（土）　中近東文化センター（三鷹市）

●合同作品展　１１／２８（水）～12／２（日）　三鷹市芸術文化センター

＊作品展は、どなたでもご来場いただけます！ぜひおおぞら会の利用者の作品を観に来てくださ

1977 年 12 月 3 日第 3 種郵便物認可(毎月 18 回 1･2･3･5･6･7 の日発行) 2018 年 9 月 4 日発行ＳＳＫＰ増刊通巻 6972 号はばたけだより NO.137

information

はばたけ秋まつり

10月6日（土） １１：00～15:30

あそびにきてね～！

もぎ店

アイスクリーム屋さん
バルーンアートもくるよ！

ステージ

キッズ
ゲームコーナー

社会福祉法人おおぞら会

職員募集

障害のある人たち、
高齢者の地域生活を
支援するお仕事です

正規職員
契約職員（常勤）
パート職員

社会福祉法人おおぞら会では、私たちと一緒に事業を支えてくださる職員を募集しています。採用条件、労働条件等の詳細については、おおぞら会本部へ直接お問い合わせいただくか、またはハローワークの情報もしくは東京都福祉人材センターのホームページ「福祉のお仕事」www.fukushi-work.jp/ で検索してご確認ください。

法人のこと、施設のこと…わからなくて迷っている方は、まずは見学からどうぞ。

おおぞら会本部　０４２２－３０－５５７１（中野）まで

社会福祉法人おおぞら会

・**ｱｸﾃｨﾋﾞﾃｨｾﾝﾀｰはばたけ**（生活介護事業）	三鷹市野崎 3-17-9	tel 0422-32-3234
・**工房時**（就労移行事業･就労継続 B 型）	三鷹市野崎 2-6-41	tel 0422-30-5571
・**野ざきの家**（小規模多機能型居宅介護事業）	三鷹市野崎 2-6-41	tel 0422-30-5575
・**サポートネットあすは**（移動支援[居宅介護]事業）	武蔵野市八幡町 1-6-1	tel 0422-36-5151
・**あすは Kids**（放課後等デイサービス）	武蔵野市八幡町 1-6-1	tel 0422-36-5151
・**ショートステイさくら**（短期入所事業）	三鷹市井の頭 4-22-6	tel 0422-32-3234
・**つなぐなかまの家**（共同生活介護）		

友人から、ガンを患い手術を受けることになったとメールがあった。小学生二人のこどもを抱えるお母さんである彼女の思いは計り知れない。人生何があるかわからない。私も 10 年ほど前に、突然の病に立ちすくむことがあった。辛い思いもしたが、その分人生観や考え方に変化もあり、今の方が肩の力が抜けて楽に生きられるようになった気もする。順風満帆にいけばよいが、そんな人生を送っている人のほうが少ないだろう。年を重ねるほどに、家族のことも含め、予想もしていなかった困難に遭遇することも増えてくる。苦しいけれど、嘆くも、悔やむも、落ち込むも、そのときの精いっぱいの自分で向き合うしかない。ごまかず隠さず、周りの人にもいっぱい頼って助けてもらえばいい。それが次の自分の糧になるはずだ…そう信じて進もう。メールのやりとりをしているうちに、たくましく立ち向かっている友人に、逆に力をもらっていた。（いりくらあきこ）

発行　障害者団体定期刊行物協会　〒157-0072 東京都世田谷区祖師谷 3-1-17-102　〔頒価　50 円〕
企画･編集　社会福祉法人おおぞら会　　編集責任者:入倉暁子